

- 学生と市長との意見交換会の内容要旨
 令和元年10月2日 香川県立保健医療大学
 テーマ1 今後住みたい高松とは

No	御意見等	回答
1	<p>冒頭説明のあった瀬戸内国際芸術祭や、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりなど高松市の取組について、知らないことが多くある。これらをもっと学生にアピールしてくれれば、住みたいと思うようになるし、友人等に（高松の魅力を）発信することもできると思う。</p>	<p>大学等との調整が必要だが、大学等に市職員を講師として派遣し、高松市の各施策について説明する機会を設けてみるのもいいかもしれない。</p> <p>また、香川大学では瀬戸内国際芸術祭のボランティアに参加することで、大学での単位に換算できる制度があると聞いている。</p> <p>このようなことは地元のことを良く知る機会となるので、市としても大学等と連携できないか検討してまいりたい。</p>
2	<p>大学のカリキュラムの一環で地域を訪れた際、子育て中の母親から、子育て支援センターや子どもと一緒に行きやすい場所が高松には多くあり、子育てがしやすいという意見をよく聞くので、高松に住みたいと考えている。</p>	<p>色々と課題はあるが、「にっぽん子育て応援団」という団体が選定した、子育てしやすいまちとして、全国主要108都市中、高松市が第2位に選ばれたこともあり、子育てしやすいまちという評価はある程度頂いていると実感している。</p> <p>今後より一層子育てしやすいまちとなるよう取り組んでまいりたい。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>若者が楽しめるような施設が充実すれば、高松も魅力が増すと思う。</p> <p>最近、商店街にもはやりの店舗が出店しているが、更なる活性化が大事である。</p>	<p>高松の規模で、活気が残っている商店街があるのは全国的にも珍しい。</p> <p>はやりものも必要であるが、高松らしい特徴的なものが大事だと考える。</p> <p>サンポート高松周辺で開催される「サマーナイトフェスティバル」や、「サンポート高松トライアスロン」大会などは、高松らしい取組であるが、（前の意見にあったように）まだまだ知らない人が多いということは、市としてPRが足りないと感じている。</p>
4	<p>休日、高速バスを利用して、よく京阪神方面に遊びに行くのだが、バスの増便、バス停を増やすなど、その利便性を高めてほしい。</p>	<p>今後住み続けたい高松という視点として、学生ならではの大変貴重な意見であり、参考とさせていただきたい。</p>

テーマ2 地域共生社会の実現に向けて

No	御意見等	回答
1	<p>研修ボランティアとして、高齢者を対象とした無料の健康診断に参加したが、行列ができるほどであり、多くの方が健康に関心があると実感した。</p> <p>このような健康診断の機会を増やし、少しずつ高齢者や一般の人たちが健康というものに関心を持つことも、地域共生社会を考えていく上で重要であると思う。</p>	<p>市民の健康に関する関心は高いと感じているところであり、そのニーズに応えるために、瓦町FLAG8階で行っている健康相談のような機会を増やすことによって、皆さんが健やかで心豊かに暮らすことができるように力を入れていきたい。</p>

No	御意見等	回答
2	<p>心筋梗塞、脳梗塞等で倒れる人は、普段医療機関を敬遠している人が多いと感じている。倒れる前にどう予防するかが重要であると考えているが、学生として中々対応策が考えつかず、御意見を伺いたい。</p>	<p>敬遠している人を無理やり受診させるなどの予防策をとることは難しいので、やはり積極的に周知啓発に取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、最近、地域でも一人暮らし高齢者が増えており、そのような方々に異変がないか、日ごろから見守っていく仕組みも必要であると考えている。</p> <p>現在高松でも、水道検針、新聞配達、宅配事業者など多様な主体と連携し、見守り体制を構築してきている。</p> <p>地域共生社会の実現に向けて、そのような取組を推進していきたい。</p>

テーマ1、テーマ2以外で

No	御意見等	回答
1	<p>説明のあった人口減少対策について、高松市だけでなく他の市町との連携も図ってほしい。</p>	<p>御指摘のとおり、香川県全体での人口流出抑制が重要であり、高松市を始め、さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町及び綾川町の3市5町で構成する「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」では、圏域全体の人口の維持や流出の抑制について、高松市がけん引しながら、取り組んでいるところである。</p> <p>このように、広域行政により、協力してできること、高松市が中心となることができることを集約し、人口減少問題に対応していきたい。</p>
2	<p>香川県民は交通マナーが悪く、運転免許取得後運転に不安があったが、慣れると、その便利さから、移動手段は車中心になり、公共交通機関を利用しなくなった。</p> <p>運賃がもう少し安くなる、家から駅までの接続がもう少し便利になれば、公共交通機関を利用しやすくなるのだが。</p>	<p>交通マナーの悪さはよく指摘される。まずは、ドライバーのマナー改善が大事であり、県や警察と連携して啓発等取り組んでまいりたい。</p> <p>車が便利であることは間違いないが、例えば、年齢を重ねると運転が難しくなった時に公共交通機関がないと困ることになる。</p> <p>公共交通機関を維持するため、高松市では電車・バスの乗り継ぎ割引や、70歳以上の市民を対象としたゴールドイルカ利用による運賃半額などの施策を実施している。</p> <p>利用者が増えることにより、公共交通機関の利便性があがるという好循環を持続していくことを目指している。</p>